もんなんe 市議会だより

□発行日　平成26年（2014年）11月１日　□編集と発行　泉南市議会議会報編集委員会　泉南市樽井一丁目１番１号
電話 072-483-0008　FAX 072-484-2085
市議会ホームページもご覧ください。　http://gikai.city.sennan.osaka.jp/　泉南市議会　検索

▲開港20周年を迎えた関西国際空港

第３回 定例会

「平成25年度大阪府泉南市一般会計歳入歳出決算認定について」を原案認定可決
実質収支4億5,480万1千円の黒字決算

平成26年第3回定例会（9月議会）は、9月3日から9月22日までの会期で開催されました。

本定例会は、一般会計補正予算及び一般会計歳入歳出決算等について、活発な議論が交わされました。

詳しくは掲載記事をご覧ください。

9月定例会 一般質問

11人が市政を問う

一般質問とは、教育、福祉、財政など市政全般に対し、質問し、確認することで、毎定例会において、各議員１人あたり１時間の質問をすることができます。

9月定例会では、11名の議員が市政全般にわたる課題や問題点について、一般質問を行いました。

各議員の主な質問項目は次のとおりです。

各議員から提出された原稿をそのまま掲載しています。
掲載順位は質問順です。

竹田　光良（たけだ　みつよし）　公明党

一般質問事項

今定例会での私の一般質問は、1. まちづくりについて 2. 教育について 3. 防災について4. 関空関連について質問いたしました。
特に、まちづくりの質問では、定住人口の増加策について、今後、人口減少時代に対して泉南市の対策を質しました。また、そのためには、魅力あるまちづくりを行う必要があり、市民ニーズを的確に把握するためには、市民意識調査のさらなる活用を訴えました。

和気　信子（わけ　のぶこ）　日本共産党

一般質問事項

1.「非核平和宣言都市」の取り組みは平和教育と市民参加で充実を　2. 老朽化した給食センターは建て替えを　3. 学童保育の対象は小6まで・施設内トイレ設置を　4. 子育て新制度で認定こども園の幼稚園保育料を値上げしない。保護者・市民への周知を　5. 来年度の改正で介護保険料を値上げしないこと　6. 防災無線放送の改善・ハザードマップの配布・津波避難ビルに毛布等備蓄を　7. 避難所の経路・災害種別で絵文字で明示を

澁谷　昌子（しぶや　まさこ）　公明党

一般質問事項

医療については、水痘ワクチン及び成人用肺炎球菌ワクチンの周知と経過措置、泉南市食育推進事業の重要性を訴えた。教育では支援教育における介助員の拡充と、通学路安全対策の継続、安全指導員の登下校見守り体制の強化と拡充を訴えた。最後に観光について「域学連携」事業の活用、マスコットキャラクターの進捗状況と活用について質問し、観光客の利便性向上への取り組み強化を訴えた。

大森　和夫（おおもり　かずお）　日本共産党

一般質問事項

1.　4億6千万円の黒字は教育・福祉にまわせと市長に迫る。市は4年連続の黒字。2.　子ども医療費の通院費への助成、中3まで拡充求める。市長は大阪府の補助が拡充されれば順次中3まで拡大すると答弁。3.　中3教室にエアコン設置実現。全学校に設置を求める。支援学級・図書室等にエアコンがないのは問題と追及。4.　泉南アスベスト国賠訴訟への支援を求める。5.　カジノ誘致・非核平和都市宣言について質問。

梶本　茂躾（かじもと　しげみ）　無所属

一般質問事項

1. 第5次泉南市総合計画前期実施計画①和泉砂川駅周辺整備事業の事業認可取得②少子高齢化社会・泉南市の人口減の原因と検証・人口流入施策・消滅可能性都市　2. 泉南市の認知症対策・泉南市の認知症サポーターの現状・安心して徘徊できる市　3. マイナンバー制度（社会保障、税番号制度）市民への広報と今後考えられる影響について　4. 観光産業の育成について、観光についての職員間の意識共有と意気込み。

松田　英世（まつだ　ひでよ）　無所属

一般質問事項

9月定例会で、5つの質問を取り上げました。1.　大きな問題は下水道事業を行っておりますが、この先、50年以上かかる事業が本当に継続できるのか、一度、立ち止まって総括をしてはどうかと質問しました。下水道事業に入らない区域外については集中合併浄化槽への行政負担をすべきだと思う。2.　青少年センターへの在り方。3.　国際交流。4.　市民協働係（政策推進課）。5.　幼保一元化について。

古谷　公俊（ふるや　まさとし）　無所属（自由民主党）

一般質問事項

1. 安心と安全について今年三度目の質問①泉佐野市は防犯カメラ駅周辺設置を9月補正予算に計上しているがその差と理由は？　2. 和泉砂川駅前再開発について①再開発までの駅周辺の通勤・通学の車の混雑対策は　3. 他府県と災害時応援協定について①全国の市町村が積極的に取り組む現状について②今後の取り組みは 4. 防災と災害について①夜中の警戒対策は？ 5. 高齢化社会について①老後の生き方ライフデザインについて

松本（まつもと）　雪美（せつみ）　日本共産党

一般質問事項

1．消費税増税で営業が厳しい中小企業者を元気にする「住宅リフォーム制度」は、市の助成額の10倍もの経済効果があると実施を求める。　2．堀河ダム上流の海側の山の土砂崩れの放置は危険。安全対策を早急に。　3．子どもを貧困から守るために、行革で7割に削減された小・中学校の修学旅行費・給食費（7割は府下で泉南市だけ）。実費に戻せと追及。　4．学校図書館司書の専任化は国も法制化。司書配置を求める。

岡田（おかだ）　好子（よしこ）　公明党

一般質問事項

1．教育について①交通安全指導について②留守家庭児童会について③不登校・いじめについて④図書館について（市立）　2．医療について①歯周疾患検診について②医療費（子ども・妊産婦健診）助成について　3．女性・子ども支援について①アルコール依存症について②児童虐待・ストーカー・ＤＶについて質問させていただきました。

成田（なりた）　政彦（まさひこ）　日本共産党

一般質問事項

1.「集団的自衛権」について、6月議会で市長は「容認」発言をしたが、今もその考えは変わっていないのか　2．高くて支払うことが困難な国民健康保険税に対して軽減対策を　3．都市再生機構による泉南一丘団地の再生・集約（削減）については、自治会、地方自治体の合意なくして進めるな　4．「同和問題」は解消に向かっており、未来志向で取り組むべきだ　5．老朽化した給食センターについては早急に建て替えせよ。

木下（きのした）　豊和（とよかず）　拓進クラブ

一般質問事項

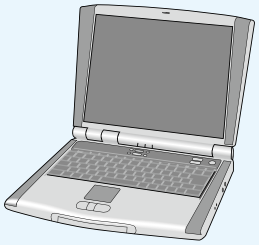
まずは、広島ー福知山等の被災関係者にお見舞い申し上げるとともに、再発防止の教訓にすべきと要請。質問は　1．公共建築物の寿命について、長いタームでの建築施工が必要ではないか？本来の安全係数と建て替え寿命の再考を促しました　2．上水道設備(給配水管)の更新について、取り換え時期が集中する課題への対応策　3．職員給与の今後の考え方　4．みどりの百選の管理体制について、各々質しました。

本会議の傍聴案内

本会議は誰でも（児童、乳幼児は議長の許可が必要）自由に傍聴することができます。
市議会の活動を知り、市政の内容をより理解していただくためにも、ぜひ本会議を傍聴してください。
本会議の傍聴を希望される方は、会議の日の当日に傍聴席入口の受付で、住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券を受け取って入場してください。
傍聴席は30席あります。また、車椅子による傍聴も可能です。

インターネットで議会の生中継・録画中継が見られます

泉南市議会では、ユーストリーム（生中継）とユーチューブ（録画映像）による議会中継の配信を行っています。
スマートフォンやタブレット型パソコンからもアクセスが可能です。
市民の皆様のアクセスをお待ちしております。



（ホームページからのアクセス方法）　泉南市議会ウェブサイト→議会中継

第3回定例会

平成26年第3回定例会（9月議会）は、9月3日から9月22日までの会期で開催されました。
本定例会に提出された議案の中から、主な質疑、討論を要約してお知らせします。

議案第2号 原案可決

■指定管理者の指定について

（主な内容）
泉南市立浜保育所の指定管理者として、社会福祉法人高陽会を指定するもの。

▼厚生文教常任委員会質疑

問 指定管理導入における効果額は？

答 従来の「信達保育所」、「たるい保育園」、「鳴滝第一保育所」、それぞれ約3千万円の効果が出ており、今回も同様の効果額が見込める。

反対討論（本会議）
市は、昭和51年に市立浜保育所を設立。今後、3年間民間法人に指定管理で運営を委託する。市民運動で作り上げてきた保育所は市民の宝。行財政改革で保育士を減らし3千万円を生み出すという利益優先。指定管理は保育の質の低下が起こると心配し反対。

議案第3号 原案可決

■泉南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

（主な内容）
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるもの。

▼厚生文教常任委員会質疑

問 1号認定については保育料が値上げされるのか？

答 現在、公立幼稚園は月額9千円であるが、新制度では1号認定の保育料は市が定める額となることから、今後、国の方から示されている所得に応じた階層区分や、特に1号、2号認定のバランスも考慮した上で金額を決定していく。

反対討論（本会議）
新たな子ども・子育て支援制度は、これまでの市町村の責任によって保育する制度を利用者と事業者の直接契約を基本とする仕組みに変更し、市町村の責任が後退し、保育の市場化が進み、保育を営利とする危険性と利用料が値上げとなり反対する。

議案第4号 原案可決

■泉南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

（主な内容）
児童福祉法が改正され、家庭的保育事業等が新たに市の認可事業として設けられることになり、本市において家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めるもの。

▼厚生文教常任委員会質疑

問 定員が19名以下の家庭的保育事業において、20名以上の認可保育所と同様に調理施設を設けるべきでは？

答 調理施設を設けるとなると、多額の投資が必要であり、人員配置も必要となることから経費的にも参入の妨げとなる。

反対討論（本会議）
小規模の地域型保育事業では国家資格のある保育士の配置が定員3歳～5歳で50％、6歳～10歳で0％と緩和され、また、原則自園調理が19名以下の定員保育所では調理室でなく調理設備でも可、委託も可となり同じ保育所でも格差が出るので反対。

議案第5号 原案可決

■泉南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

（主な内容）
平成27年4月より「子ども・子育て支援新制度」が始まることに伴い、本条例で基準を定めるもの。

▼厚生文教常任委員会質疑

問 条例改正に伴う保育料についての考え方は？

答 現時点では1カ月5200円であり、また、延長保育の場合は3千円を加算となっているが、使用料及び手数料については全庁的に4年に1度見直すというルールにのっとり、コスト等を勘案し、検討する。

賛成討論（本会議）

現在、市は小学1年生～3年生までの留守家庭児童会を開設し運営。国は「子ども・子育て基本法」の新制度を法制化。泉南市でも来年から放課後児童健全育成事業として再スタートへ。定員オーバーの信達・西信達小の施設を拡充し、6年生までの希望者を受け入れることを求めて賛成。

議案第6号　原案可決

■泉南市老人医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

（主な内容）

老人医療費助成制度の特定疾患にかかる対象範囲を拡充するもの。

▼厚生文教常任委員会質疑

問　新たに難病指定の幅が広がって56疾患が300疾患となるが、本条例にかかる対象者数は？

答　現在、市では約130人の方に医療証を発行しており、改正後は対象者が約230人になると試算している。

賛成討論（本会議）

難病対策要綱策定から41年、56疾患が指定されているが、今回、国は法制化して対象範囲を300疾患に拡充。医療証発行は130人、改正後は230人に増えると予測。今後、医療費は1千円以上の支払いはなく市民負担が軽減されるため賛成。

議案第7号　原案可決

■平成26年度大阪府泉南市一般会計補正予算（第3号）

（主な内容）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億8004万9千円を増額するもの。

▼平成26年度予算審査特別委員会質疑

問　泉南市における生活保護受給者数は？

答　平成25年3月末現在では1276名であったが、平成26年3月末現在は1205名である。

議案第10号　原案可決

■平成26年度大阪府泉南市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

（主な内容）

過年度収入済保険料の余剰分についての給付準備基金への積立金により歳入歳出それぞれ1億230万8千円追加をするもの。

▼平成26年度予算審査特別委員会質疑

問　返還金事業の具体的な内容は？

答　介護保険の給付費、地域支援医療の中の介護予防事業、包括支援センターの委託料、一般高齢者の方の介護予防事業などに係る国庫交付金の返還金である。

議案第11号　原案可決

■平成26年度大阪府泉南市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

（主な内容）

後期高齢者医療広域連合納付金等にかかる1654万6千円を歳入歳出にそれぞれ追加するもの。

▼平成26年度予算審査特別委員会質疑

問　今回の補正予算の内容は？

答　大阪府後期高齢者医療広域連合は3月末締めで、市は5月末が出納閉鎖であることから、平成26年4月、5月に納付された平成25年度分保険料を、平成26年度に広域連合へ負担金として納付するもの。

反対討論（本会議）

75歳から後期高齢者医療保険に加入し全員が保険料を支払う制度。収入0円の高齢者でも年間5260円の保険料負担発生。夫が年間217万円、妻は79万円の収入で妻の保険料は2万6303円と一気に5倍になる。高齢者いじめ、高齢者差別する後期高齢者医療保険制度に反対。

議案第13号　原案認定可決

■平成25年度大阪府泉南市一般会計歳入歳出決算認定について

（主な内容）

歳入決算額286億49万2395円及び歳出決算額280億9660万9973円について議会の認定を求めるもの。

反対討論（本会議）

平成25年度、一般会計決算は長年続いた空港、「同和」事業優先でつくった「土地開発公社」の借金81億円を今後30年間に渡って毎年3億円の借金返済を市民に負担させるものである。借金返済のために公共料金値上げ、教育・福祉が削減されるので反対。

委員会の視察報告をします

常任委員会並びに各特別委員会は、所管する課題に対し、先進的な自治体を訪問し、行政事務事業の参考とするため行政視察を行いました。主な内容は、次のとおりです。

7月17日～7月18日	行財政問題対策特別委員会　千葉県佐倉市、埼玉県和光市
7月24日～7月25日	空港等まちづくり対策特別委員会　北海道苫小牧市、千歳市
7月31日～8月 1 日	議会基本条例制定特別委員会　秋田県横手市、大仙市
8月11日～8月12日	厚生文教常任委員会　岩手県北上市、盛岡市

行財政問題対策特別委員会

○千葉県佐倉市「ファシリティマネジメント推進事業について」

公共施設の老朽化が進み、その修繕・維持管理費等が増加することにより、市財政に大きな負担となることが本市においても今後予想されます。そこで、施設に係る経費の最小化や施設効用の最大化を図ることができるファシリティマネジメント推進事業を実施している佐倉市を視察しました。

○埼玉県和光市「行政評価について」

本市においては事務事業評価に取り組んでおりますが、事務事業評価の次のステップである施策評価については今後の課題となっています。そこで、平成23年から10年間を計画期間とする第４次総合計画振興計画基本構想において、77の施策・方針を含め施策評価を実施している和光市を視察しました。

▲佐倉市役所にて

空港等まちづくり対策特別委員会

▲苫小牧市役所にて

○北海道苫小牧市「まちなか再生総合プロジェクトについて（観光）」

平成12年頃より地域全体の商業とまち中の魅力が落ち込んできたため、持続可能なまちづくりをめざし、民間、行政の協力のもと、「にぎわいの創出」「公共交通の利便性の向上」「まちなか居住の推進」の３つの基本方針をたて実行している苫小牧市を視察しました。

○北海道千歳市「観光の取組について」

平成23年度から10年間の「千歳市観光振興計画」を策定している中で、『観光客の落ち込み』のため冬場の宿泊施設の稼働率が下がるという課題に対し、支笏湖（しこつこ）などでは、冬のイベントをうちだすなどの対策を行っており、また、「千歳観光マイスター」を育成する事業展開を行っている千歳市を視察しました。

議会基本条例制定特別委員会

○秋田県横手市、大仙市「議会基本条例について」

議会基本条例の制定に向け、調査、研究を行っている本特別委員会では、議会基本条例を制定し、先進的な取り組みを行っている秋田県横手市、大仙市を訪問し、条例制定までの経過や問題等、さらには条例施行後の様々な課題について視察しました。

今後は今回の視察で勉強した議会基本条例の先進的な取り組みをもとに、泉南市議会に相応しい条例を制定すべく邁進してまいります。

▲横手市役所にて

▲盛岡市役所にて

厚生文教常任委員会

○岩手県北上市「北上市観光行政について」

工業団地、流通センター、産業業務団地に254の企業が集積しており、県内でも製造品出荷額が毎年上位となるなど、東北有数の企業集積地である北上市の「ものづくり観光」について視察しました。

○岩手県盛岡市「盛岡市立小中学校学校給食基本方針について」

平成25年12月に盛岡市立小中学校学校給食基本方針を策定し、全ての小中学校において選択制給食を含む完全給食を実施している盛岡市を視察しました。

泉南市議会基本条例の制定に向けて

泉南市議会では、市民から信頼され、市民の幸せを実現する議会を目指すため、議会及び議員の活動原則等を定めた議会基本条例の制定に取り組んでいます。

この度、条例（素案）がまとまりましたので、市民の皆さまのご意見をお聞きするため、市民説明会を開催するとともに、パブリックコメントを実施することになりました。

内容につきましては、下記の通りです。

市民説明会

日　　時	平成26年12月21日(日) 午後2時から（約90分程度）
場　　所	総合福祉センター　1階大会議室
定　　員	100名（事前申込不要）

パブリックコメント

案　件　名	泉南市議会基本条例（素案）
対　　象	泉南市内に居住する者、在勤又は在学する者、市内で事業又は活動を行う者
意見募集期間	平成26年12月15日(月)から平成27年１月16日(金)まで必着
資料の入手方法	(素案)に関する資料は、議会ウェブサイトからダウンロードしていただくほか、市の情報公開コーナー、議会事務局で閲覧できます。
意見提出方法	ご意見は、持参(土日祝を除く午前９時から午後５時)か郵送、FAX、Ｅメールで、住所、氏名(もしくは法人名)、電話番号、意見(様式自由)を明記の上、下記の「提出先」へ。電話でのご意見は、お受けできませんのでご了承ください。
意見の提出先	担当課　議会事務局 所在地　〒590－0592（住所記載は不要） 電話番号　072－483－0008 ＦＡＸ番号　072－484－2085 電子メール　gikai@city.sennan.lg.jp
募集結果の公表	平成27年１月下旬ごろに、市の情報公開コーナー、議会事務局、議会ウェブサイトで公表する予定です。 なお、公表に際しては、複数の方から同内容の意見をいただいた場合は、集約して回答をさせていただきますので、ご了承ください。

議案賛否一覧

議案番号	件名	賛否			結果
議案第1号	泉南市固定資産評価審査委員会委員の選任について（松本 隼人氏）	全会一致			原案同意
議案第2号	指定管理者の指定について	賛成	11	古谷、谷、田畑、岡田、澁谷、梶本、河部、木下、竹田、南、堀口	原案可決
		反対	5	松田、大森、和気、成田、松本	
議案第3号	泉南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成	12	松田、古谷、谷、田畑、岡田、澁谷、梶本、河部、木下、竹田、南、堀口	原案可決
		反対	4	大森、和気、成田、松本	
議案第4号	泉南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	賛成	12	松田、古谷、谷、田畑、岡田、澁谷、梶本、河部、木下、竹田、南、堀口	原案可決
		反対	4	大森、和気、成田、松本	
議案第5号	泉南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	全会一致			原案可決
議案第6号	泉南市老人医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致			原案可決
議案第7号	平成26年度大阪府泉南市一般会計補正予算（第3号）	全会一致			原案可決
議案第8号	平成26年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致			原案可決
議案第9号	平成26年度大阪府泉南市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致			原案可決
議案第10号	平成26年度大阪府泉南市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致			原案可決
議案第11号	平成26年度大阪府泉南市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	賛成	12	松田、古谷、谷、田畑、岡田、澁谷、梶本、河部、木下、竹田、南、堀口	原案可決
		反対	4	大森、和気、成田、松本	
議案第12号	平成26年度泉南市水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致			原案可決
議案第13号	平成25年度大阪府泉南市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成	12	松田、古谷、谷、田畑、岡田、澁谷、梶本、河部、木下、竹田、南、堀口	原案認定可決
		反対	4	大森、和気、成田、松本	
議案第14号～28号	平成25年度大阪府泉南市樽井地区財産区会計歳入歳出決算認定について　ほか14件	全会一致			原案認定可決
議案第29号	平成25年度大阪府泉南市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成	11	松田、古谷、谷、田畑、岡田、澁谷、梶本、河部、木下、竹田、南	原案認定可決
		反対	4	大森、和気、成田、松本	
		退席	1	堀口	
議案第30号	平成25年度大阪府泉南市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成	11	松田、古谷、谷、田畑、岡田、澁谷、梶本、河部、木下、竹田、南	原案認定可決
		反対	4	大森、和気、成田、松本	
		退席	1	堀口	
議案第31号	平成25年度泉南市水道事業会計決算認定について	賛成	12	松田、古谷、谷、田畑、岡田、澁谷、梶本、河部、木下、竹田、南、堀口	原案認定可決
		反対	4	大森、和気、成田、松本	
議案第32号	泉南市副市長の選任について（辻本　誠氏）	全会一致			原案同意
議案第33号	泉南市固定資産評価員の選任について（辻本　誠氏）	全会一致			原案同意
	閉会中の継続調査について				継続調査

その他の議案結果

議案番号	件名	結果
泉南監報告第8、9、10号	例月現金出納検査結果報告	報告済
報告第1号	平成25年度決算に基づく泉南市健全化判断比率について	報告済
報告第2号	平成25年度大阪府泉南市下水道事業特別会計決算に基づく資金不足比率について	報告済
報告第3号	平成25年度泉南市水道事業会計決算に基づく資金不足比率について	報告済

議会報編集委員会

委員長／谷　展和
副委員長／堀口武視
委　員／古谷公俊
澁谷昌子
河部　優
成田政彦

お待ちしています ご意見 ご感想

議会だよりに対するご意見・ご感想をお寄せください。

〒590-0592（住所不要）
泉南市議会事務局
TEL 483-0008　FAX 484-2085
e-mail:gikai@city.sennan.lg.jp

編集後記

第3回定例会において、議員それぞれが活発な議論をいたしました。新たな副市長が決定し、より一層、市民が暮らしやすいまちづくりを目指して参ります。季節の変り目、体調を崩されないようお気を付け下さい。